

平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 32 (当初計画: No. 34)

東北森林管理局

取組名	国有林材の安定供給システム
流域名	北上川中流流域 (遠野)
重点事項番号	①-11
実施箇所及び実施日	
取組の背景及び必要性	遠野地区における製材品流通の活性化を図るため。
取組の内容	システム販売協定に基づき、システム協定締結者へ安定的に製材原木を供給した。
国有林担当部局・役割	遠野支署 計画的な木材の販売
連携協働相手先・役割	製材工場等 安定的な木材の購入。
取組の結果、反響、今後の課題等	安定的な木材の販売を通じて、地域振興と木材需要の拡大・遠野材の普及・宣伝に寄与している。
PRの実施状況及びその期待する効果	安定的な木材の販売を通じて、地域振興と木材需要の拡大・遠野材の普及・宣伝に寄与し地域林業の先導的役割を果たす。

平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 33 (当初計画: No. 35)

東北森林管理局

取組名	「森林のくに遠野まつり」(継続)	
流域名	北上川中流流域(遠野)	
重点事項番号	⑥-63	
実施箇所及び実施日	遠野市蔵の道広場	
取組の背景及び必要性	<p>「森林のくに遠野まつり」は遠野市産業まつりと同時に開催され、遠野市内の林業・木材産業関係者、岩手県、遠野市及び当支署で構成された「森林のくに遠野・協同機構」による市民向けイベントであり官民関係者の連携の下、国有林野事業及び森林・林業の普及宣伝のため。</p>	
取組の内容	<p>「森林のくに遠野・協同機構」と連携したブースを設置し、国有林野事業及び森林・林業の普及宣伝を行った。</p>	
	国有林担当部局・役割	<p>遠野支署 会場準備・苗木・丸太切り体験の準備等</p>
	連携協働相手先・役割	<p>厚板・木工品の即売会、木工教室の開催等</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>会場内では、「森林のくに遠野・協同機構」としてブースを設け、森林・林業の役割や重要性について普及啓発を行った。地域と一体となった国有林の取り組みについて広く周知することができ、地域からも評価された。</p>	
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>多くの方が会場を訪れたことから、森林・林業・林産業及び国有林野事業についてPRできた。 今後も継続することにより更に評価も高まるものと思われる。</p>	

【参考資料】

取組名	「森林のくに遠野まつり」(継続)
-----	------------------

1. 丸太切り体験



平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 34 (当初計画: No. 34)

東北森林管理局

取組名	「遠野市緑化祭」(継続)
流域名	北上川中流流域(遠野)
重点事項番号	⑥-61
実施箇所及び実施日	遠野市永遠の丘 平成24年11月10日
取組の背景及び必要性	森林の役割と重要性の啓発及び技術指導のため
取組の内容	遠野市緑化祭『里山フェスタ2012』を遠野市と連携して開催し、市内各地から参加した約230名に植樹作業等の体験を通じて、森林整備の役割と重要性について理解を深めるよう取り組んだ。
国有林担当部局・役割	遠野支署 会場設営と技術・安全指導及び講評
連携協働相手先・役割	遠野市広報による参加者募集 会場設営・送迎バス及び昼食の手配
取組の結果、反響、今後の課題等	森林整備の重要性及び国有林の役割についての認識・関心が高まるとともに、理解を深めた。
PRの実施状況及びその期待する効果	森林整備の重要性についての認識・関心が高まり、理解を深めたことから、今後森林整備が図られることが期待される。

【参考資料】

取組名	「遠野市緑化祭」(継続)
-----	--------------

1. 植樹作業の状況



平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 35 (当初計画: No. 37)

東北森林管理局

取組名	森林環境教育の推進(継続)
流域名	北上川中流流域(遠野)
重点事項番号	⑥-61
実施箇所及び実施日	花巻市東和町田瀬ダム 平成24年7月21日
取組の背景及び必要性	「森と湖に親しむ旬間」における行事の一環として、一般の参加者を対象に、森林とダムの役割への関心、理解を深めていただくため。
取組の内容	「田瀬ダム森林探検隊」と銘打って、22名の参加者に、ダム湖周辺の遊歩道を散策しながら樹木の名前・森林の役割・森林と水の関わりなど森林の持つ公益的機能の重要性などについて普及啓発を行った。
国有林担当部局・役割	遠野支署 ダム湖周辺の遊歩道の事前調査、森林教室の実施
連携協働相手先・役割	田瀬ダム管理支所 参加者の募集・ダム及び発電所の案内
取組の結果、反響、今後の課題等	森林は、森林の持つ公益的機能により水資源等が確保されており、公益的機能を十分に発揮させるためには、森林の適切な管理が必要なことなど理解を深めた。
PRの実施状況及びその期待する効果	取り組みの結果から、森林を大切にするという意識が芽生えたと思われる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林環境教育の推進（継続）
-------	---------------

1. 遊歩道散策・説明の状況



平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 36 (当初計画: No. 38)

東北森林管理局

取組名	地域林業の低コスト化に向けた現地検討会（新規）
流域名	北上川中流流域（遠野）
重点事項番号	②-22
実施箇所及び実施日	西恩徳国有林57林班 平成24年8月23日
取組の背景及び必要性	森林・林業再生プランの取り組みとして、林業の機械化・効率化の促進を図り、地域林業の活性化等に貢献するため。
取組の内容	岩手県、遠野市、森林組合、素材生産請負事業体等遠野地域の林業に携わる者を参集し、路網の作設技術の普及・定着を図るとともに、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムの普及・定着を促進し地域林業を活性化するため。
国有林担当部局・役割	遠野支署 関係機関等との対応等
連携協働相手先・役割	岩手県、遠野市、森林組合、素材生産請負事業体等
取組の結果、反響、今後の課題等	森林作業道の作設技術の向上、作業システムの効率化等各テーマ毎に継続して検討会等を実施するとともに、民有林に係る事業体等から多くの参加を促し、その定着、普及に努める必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	現地検討会の開催により、関係機関や当支署若手職員の現場作業のイメージ作りや今後の指導等の参考となり、実施事業体についても現場作業員等の意識の改善が見られ、低コストで効率的な作業システムの普及・定着等に貢献していくものと期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	地域林業の低コスト化に向けた現地検討会（新規）
-------	-------------------------

1. 現地での作業状況の説明



2. 現地での意見交換の状況

